

検討項目		令和6年度取組	前年度3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	チェック	自己評価	評価	後期に向けて
①現状分析・課題抽出・施策立案	(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	地域の医療機関、介護事業所等の住所、連絡先、機能等を把握し、その情報と合わせて、リストやマップを作成、活用する	○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集 ○医療機関関係等の情報を把握 ○介護事業所の最新情報を得る。 ○平塚市の医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用 ○市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」を更新する。 ○「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を更新する。 ○ケアマネが使用する連絡票、入院時退院時情報提供取扱窓口の更新 ○連携支援センターホームページの改修及び運用とFacebookの活用							わくわくマップの運用（平塚市ホームページ） ひらつか介護サービス（医療対応）一覧の更新、検索ツール 介護タクシー・福祉有償運送情報一覧更新 連絡票・入院時退院時情報提供取扱窓口の更新 平塚市在宅医療・介護連携支援センターウェブサイト改修及び運用		B	「ひらつか介護サービス一覧」更新作業、ウェブサイトの改修をおこなっていく。
	(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う	○平塚市在宅医療介護連携推進協議会の意見聴取と協議 3回 ○在宅医療・介護連携に係る課題抽出や対応策の検討を行う。（定例会 1回/月） また、市の認知症施策等についての検討を行う。							毎月第3（木）定例会での課題抽出 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">7/25 第1回協議会</div>		A	協議会は年3回、今後第3回を行う。
	(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、必要な具体的取組を企画・立案する	○切れ目のない在宅医療・介護の提供構築 ○終末期における意思決定支援方法のひとつとして「在宅介護生活サポートガイド」の活用を支援する。 ○高齢者施設における救急車の適正利用及び施設看取りについての普及啓発を実施する。 ○障がい者も含めた「在宅医療に必要な連携を担う拠点」の構築についての国の指針について、実現の可能性を検討する。 ○medical B. I. G. net等ICTツールを用いた医療と介護の情報連携について検討する。							施設の救急適正利用の普及啓発 終末期への活動支援事業推進の検討「サポートガイド」の普及啓発 medical B. I. G. net の運営定例会への出席と活用検討		A	サポートガイドについて、引き続き専門職に説明する機会を作り、救急車の適正利用について、かかりつけ医をもつことについて、在宅や施設での看取りについて考えてもらえる研修を介護職員や市民にしていきたい。
②対応策の実施	(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の対応を行う	○在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の運営 ・医療・介護関係機関に相談の調整及び連携を行う。 ・参考となる相談、解決策を平塚市在宅医療介護連携支援センターのホームページ上に掲載を行う。 ・各研修会や管理者連絡会などで相談事例の情報共有を行う。							平塚市在宅医療介護連携支援センターでの相談実施		A	HIVやMRSA等について、市民病院の感染症対策専門ナースと来年度前期に啓発を行う準備をしていく。
	(キ) 地域住民への普及啓発	在宅医療・介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する	○地域住民への普及啓発事業として講演会を実施 ○包括支援センター及び市内団体機関等と普及事業を実施。（例：もしバナゲーム等） ○YouTubeチャンネル「介護サービスのあれこれinひらつか」に医療サービス（在宅医療）を追加し動画配信 ○介護予防教室等地域からの依頼で講義を行う。							<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">9/7 北ブロック公民館向け在宅医療といざ</div>		A	高齢者に対するカードは、他のものを使っていか検討する。YouTubeチャンネル「介護サービスのあれこれinひらつか」がシリーズ化されているが、在宅医療についての動画も作成していく予定。
	(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援	情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援する	○医療と介護の情報共有 ・情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」の活用を支援する。 ・「在宅介護生活サポートガイド」の共有を図る。 ・medical B. I. G. netやkintoneを用いた医療と介護の情報連携について協力する。							情報共有ツール（ひらつか安心ファイル・ひらつかあんしんカード）の周知と配布、活用 在宅介護生活サポート事業（看取り）の在宅医療・介護の現場への展開の支援		A	ひらつか安心ファイルの活用は、サポートガイドの説明をするときに、施設職員等にお話をし、配布数は微増している。
(カ) 医療・介護関係者の研修	地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。必要に応じ、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う	①病院と地域の医療介護関係者職員との連携事業（研修） ②地域（在宅・施設）と救急車適正利用と病院との連携 ③終末期の取り組み、施設職員等に対する救急、看取り時の対応策の研修 ④「在宅介護生活サポートガイド」の研修（第9期計画） ⑤多職種に向け実践で活かせる学習会を実施 ⑥地域包括支援センターの人材育成・地域包括支援センター職員向けの研修の実施。							<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5/30 サ高住・住宅型救急適正利用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6/13 共済病院退院支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6/19 薬剤師と意見交換</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7/12 包括研修1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7/29 包括研修2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8/1 施設長意見交換看取り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8/23 包括研修3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9/18 施設職員看取り</div> </div> 地域包括支援センターの職員向けの研修の実施 サポートガイド活用動画作成		A	① 共済病院入退院支援室看護師、ケアマネ、訪客との連携研修1回 ② 施設職員へ救急連絡シートの活用、周知等研修1回 ③ 施設長と施設職員に対する看取り研修2回 ④ サポートガイド研修1回 ⑤ 薬剤師との意見交換会1回 ⑥ 包括研修3回	
③評価・改善	事業全体の目的を明確化しつつ、PDCAサイクルに沿った取組を実現する		チェック 計画策定 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">協議会による評価</div>							チェック <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">協議会による中間評価</div>		評価指標（自己採点）A：100% B：80%以上 C：60%以上 D：40%以上（一部見直しが必要） E：評価しない（見直し、廃止が必要）	